



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月12日

上場会社名 株式会社ユニリタ 上場取引所 東  
コード番号 3800 URL <https://www.unirita.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員(氏名) 北野 裕行  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 伊藤 正人 (TEL) 03-5463-6381  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,939	3.5	229	57.6	362	26.9	219	25.0
2025年3月期第1四半期	2,840	△2.5	145	△35.2	285	△11.6	175	△15.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 264百万円(43.3%) 2025年3月期第1四半期 184百万円(△38.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	28.92	—
2025年3月期第1四半期	23.20	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	15,887	11,970	75.3	1,577.80
2025年3月期	15,366	11,971	77.9	1,577.93

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 11,970百万円 2025年3月期 11,971百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		36.00	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	4.4	400	8.4	530	4.6	310	6.8	40.84
通期	12,500	7.0	1,050	24.9	1,200	19.8	850	18.6	111.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	8,000,000株	2025年3月期	8,000,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	412,900株	2025年3月期	412,900株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	7,587,100株	2025年3月期1Q	7,567,127株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書) .....	6
(第1四半期連結累計期間) .....	6
(四半期連結包括利益計算書) .....	7
(第1四半期連結累計期間) .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(重要な後発事象の注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高29億39百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益2億29百万円(同57.6%増)、経常利益3億62百万円(同26.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億19百万円(同25.0%増)となりました。

セグメント別売上高、営業利益および営業利益率

(金額単位：百万円)

		2025年3月期 第1四半期 累計期間	2026年3月期 第1四半期 累計期間	前年同期比	
				増減	増減率
プロダクトサービス	売上高	1,124	1,189	64	5.7%
	営業利益	325	395	69	21.3%
	営業利益率	29.0%	33.3%	4.3pt	—
クラウドサービス	売上高	836	873	37	4.4%
	営業利益	△151	△143	8	—
	営業利益率	—	—	—	—
プロフェッショナル サービス	売上高	879	877	△2	△0.3%
	営業利益	18	52	33	180.1%
	営業利益率	2.1%	6.0%	3.9pt	—
連結	売上高	2,840	2,939	98	3.5%
	営業利益	145	229	83	57.6%
	営業利益率	5.1%	7.8%	2.7pt	—

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

プロダクトサービス事業は、既存顧客のIT基盤増強需要等を受けてメインフレーム向けのライセンス販売が伸長し、売上高11億89百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益3億95百万円(前年同期比21.3%増)となりました。当事業の注力商品である「まるっと帳票クラウドサービス」については、業績への寄与は限定的ではありませんが、多様化する顧客ニーズを捉えるためにパートナー協業を強化し、売上が伸長しました。

クラウドサービス事業は、主にIT部門向けクラウドサービスが伸長し、売上高8億73百万円(前年同期比4.4%増)、営業損失1億43百万円(前年同期比8百万円の損益改善)となりました。当事業に属する主な製品・サービスの経過ですが、「LMIS」については、企業のシステム運用アウトソーシング需要の増加を受けたITサービス事業者からの受注増等により売上が伸長しました。一方、「Waha! Transformer」については、生成AI連携サービスを前期末にリリースしたものの受注の出足は鈍く、売上は微増にとどまりました。また、「DigitalWorkforce」については、仕入原価の低減により収益性は改善しましたが、売上は微増にとどまりました。

プロフェッショナルサービス事業は売上高8億77百万円(前年同期比0.3%減)と微減ながら、コンサルティングが引き続き好調であったことに加え、Salesforceプラットフォームでの開発受託等の高付加価値案件への転換により収益性が向上し、営業利益52百万円(前年同期比180.1%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末(以下、当第1四半期末)における総資産は、前連結会計年度末(以下、前期末)と比較して5億20百万円増加し、158億87百万円となりました。これは主に現金及び預金が5億29百万円、流動資産その他が1億39百万円それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が2億39百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は、前期末と比較して5億21百万円増加し、39億16百万円となりました。これは主に、前受収益が5億65百万円増加した一方で、流動負債その他が90百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前期末と比較して0百万円減少し、119億70百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が50百万円増加した一方で、利益剰余金が46百万円減少したことによるものであります。利益剰余金については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により2億19百万円増加し、配当金の支払いにより2億65百万円減少しています。

この結果、当第1四半期末における自己資本比率は75.3%(前期末は77.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」にて公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,680,730	10,210,467
受取手形、売掛金及び契約資産	1,361,938	1,122,081
棚卸資産	39,957	43,132
その他	352,925	492,078
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	11,435,510	11,867,718
固定資産		
有形固定資産	77,538	73,176
無形固定資産		
ソフトウェア	428,694	468,938
のれん	244,641	225,655
その他	4,299	4,299
無形固定資産合計	677,635	698,893
投資その他の資産		
投資有価証券	2,852,585	2,926,374
繰延税金資産	108,864	110,522
差入保証金	171,993	171,548
その他	42,306	39,161
投資その他の資産合計	3,175,751	3,247,606
固定資産合計	3,930,925	4,019,676
資産合計	15,366,436	15,887,395

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	398,349	339,489
未払法人税等	90,893	132,719
前受収益	1,781,966	2,347,235
賞与引当金	135,136	164,130
受注損失引当金	-	491
その他	690,328	599,806
流動負債合計	3,096,674	3,583,872
固定負債		
長期末払金	82,326	90,641
繰延税金負債	121,001	144,501
退職給付に係る負債	94,453	97,387
固定負債合計	297,780	332,531
負債合計	3,394,455	3,916,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,330,000	1,330,000
資本剰余金	1,599,379	1,599,379
利益剰余金	9,159,340	9,113,237
自己株式	△628,728	△628,728
株主資本合計	11,459,990	11,413,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	483,896	534,801
為替換算調整勘定	28,093	22,302
その他の包括利益累計額合計	511,990	557,103
純資産合計	11,971,981	11,970,991
負債純資産合計	15,366,436	15,887,395

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,840,913	2,939,806
売上原価	1,263,393	1,235,690
売上総利益	1,577,520	1,704,116
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	573,761	615,088
賞与引当金繰入額	29,378	20,039
退職給付費用	10,574	10,407
研究開発費	93,035	105,658
のれん償却額	18,986	18,986
その他	706,241	704,556
販売費及び一般管理費合計	1,431,976	1,474,737
営業利益	145,543	229,378
営業外収益		
受取利息	704	1,234
受取配当金	134,020	129,839
保険配当金	4,445	3,089
持分法による投資利益	-	458
その他	2,645	1,165
営業外収益合計	141,815	135,787
営業外費用		
持分法による投資損失	405	-
為替差損	776	2,173
コミットメントフィー	250	249
営業外費用合計	1,432	2,423
経常利益	285,926	362,742
特別損失		
固定資産除却損	923	-
特別損失合計	923	-
税金等調整前四半期純利益	285,002	362,742
法人税等	109,392	143,296
四半期純利益	175,610	219,446
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,610	219,446

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	175,610	219,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,881	50,904
為替換算調整勘定	6,164	△5,791
その他の包括利益合計	9,045	45,113
四半期包括利益	184,655	264,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,655	264,559
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト サービス	クラウド サービス	プロフェッショ ナルサービス			
売上高						
外部顧客への売上高	1,124,928	836,265	879,720	2,840,913	—	2,840,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,934	49,914	114,149	176,998	△176,998	—
計	1,137,862	886,179	993,869	3,017,912	△176,998	2,840,913
セグメント利益又は 損失(△)	325,989	△151,222	18,668	193,435	△47,892	145,543

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用とは、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費を指しております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト サービス	クラウド サービス	プロフェッショ ナルサービス			
売上高						
外部顧客への売上高	1,189,023	873,314	877,469	2,939,806	—	2,939,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,378	42,774	114,650	163,803	△163,803	—
計	1,195,401	916,088	992,119	3,103,610	△163,803	2,939,806
セグメント利益又は 損失(△)	395,574	△143,045	52,283	304,812	△75,433	229,378

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用とは、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費を指しております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	74,520千円	59,165千円
のれんの償却額	18,986	18,986

## (重要な後発事象の注記)

## (譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2025年7月2日開催の取締役会において、下記のとおり、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分（以下「本自己株式処分」又は「処分」といいます。）を行うことについて決議し、2025年7月29日に払込手続きが完了しております。

## 1. 処分の概要

(1) 処分期日	2025年7月29日
(2) 処分する株式の種類および総数	当社普通株式22,997株
(3) 処分価額	1株につき1,906円
(4) 処分総額	43,832,282円
(5) 処分予定先	当社の取締役（社外取締役を除きます。） 6名 9,537株 当社の執行役員 5名 2,748株 当社の従業員（年俸者） 17名 5,059株 当社子会社の取締役（社外取締役を除きます。） 14名 5,653株
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

## 2. 処分の目的及び理由

当社は、2022年5月13日開催の取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除きます、以下「対象取締役」といいます。）に対し、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、対象取締役に対する新たな報酬制度として譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）を導入することを決議し、また、2022年6月23日開催の定時株主総会において、本制度に基づき譲渡制限付株式取得の出資財産とするための金銭報酬として、対象取締役に対して従来の取締役に對する金銭報酬枠の範囲内で年額40百万円以内の金銭報酬債権を支給すること、及び譲渡制限付株式の譲渡期間として割当てを受けた日から当該対象取締役が当社及び当社子会社の取締役の地位を退任するまでの期間とすることにつき、ご承認をいただいております。